



ひら 拓く HIRAKU

令和6年度 第2号
2024年 12月
〈編集・発行〉
京都府立八幡支援学校
PTA 本部

たけまつり

第15回たけまつりは10月30日、31日、11月1日の3日間にわたって開催されました。

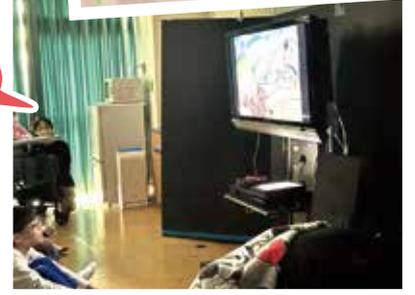
高等部
福祉総合科



中学部



高等部



高等部普通科



小学部

たけまつり PTA 催し

さかなつり

10月30日・31日の2日間、「さかなつりコーナー」を開催しました。今年には魚に加え、かわいいキャラクターたちを増やして、バージョンアップ！大きなプールにいっぱいの魚やキャラクターつりを、多くの児童生徒たちが楽しんでくれていました。

好きな種類を選んだり、たくさんつりたいと数を優先したり、それぞれのやり方でがんばる姿に個性を感じました。

ヨーイドンの合図で始めると、集中して会場がシーンとなり、先生方から「すごい集中してる！」との声も聞かれました。

私たちも小学部から高等部のみなさんと交流することができて、楽しいひとときを過ごせました。

また来年もみなさんに楽しんでいただけるように、企画を考えていきたいと思ひます。



フラダンスサークル

今年は、日本語の親しみのある曲を選び、楽しみながら練習してきました。歌詞と振り付けが合っていて、見てもらうのに分かりやすかったかな、と感じています。

本番は、たけまつりオープニング最後の時間を頂き、たくさんの方々に見ていただけたことは、サークルメンバーにとって、とてもうれしかったです。

みなさん、ノリノリで手拍子をしていただいたので、緊張もほぐれ楽しく踊ることができました。

ありがとうございました。



昨年度と同様、たけまつりでお茶会を開催しました。

高等部3年生と担任の先生方をお招きし、茶道のお点前を体験し、楽しいひとときを過ごしました。

積極的な生徒も多く、茶道の道具や着物・作法にも興味をもって質問をしてくれたり、お抹茶を飲んで笑顔で感想を言い合ったり、とても楽しんでいる様子でした。



また、茶道作法の1つである「礼に始まり、礼に終わる」体験を通し、美しい日本の文化について少し触れることができたのでは、と思います。

この度は、御参加いただきありがとうございました。



茶道

サークル



防災展示



今年度のたけまつりも、体育館前に防災のコーナーが設置され、防災食についての説明や非常食の一例の展示がありました。

防災避難食の煮物と保存水を、サンプルとして持ち帰ることができました。

学校にも防災食が備蓄されていて、PTA費で毎年購入しています。

飲料は、災害・非常用保存水があり、食料は、白飯（アルファ化米）、カレーピラフ、ミキサー粥があります。



～企業で働くために必要な力について～

7月17日（水）、進路指導部の先生方の御協力を得て、本校保護者対象に「株式会社あしすと阪急阪神」雇用推進室 宮永亜佐子様・石川一雄様・伊藤寛様の講演会が開催されました。

こちらの企業は、障がい者の雇用促進を目的とされる特例子会社です。

現在、社員の約7割、170名の知的障害などがある方を雇用されています。2022年度のアビリンピック「障害者技能競技大会」では、大阪府知事賞（金賞）を受賞されたそうです。

仕事内容は、清掃・メール集配・喫茶で、実際に業務の様子や社員さんの声を、動画で拝見させていただき、いきいきと働いておられる姿、社員さんの仕事に対する思いがすばらしく、感動しました。

企業が求める人材は、毎日出勤できるなど、生活が整った上で成り立っていること。

働くために必要な力は、自分で決める力や自信をつける事が必要であること。

そのためには、毎日のお手伝い、家庭内で役割を与えてたくさんチャレンジさせ、親がフォロー出来るうちに失敗をたくさん経験させることが大切、とのことでした。

就職はスタートライン、そこから長距離ランナーになって走って行かなければならないとおっしゃっていました。

我が子は、4月から長距離ランナーになる予定です。いろいろな事があると思いますが、沿道から応援してやりたいと思います。



夏の地域学校

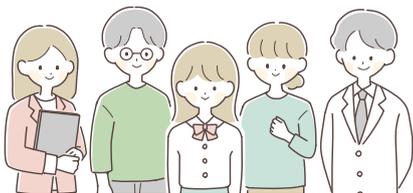
7月24日（水）、中央小学校と美濃山小学校にて「夏の地域学校」が開催されました。

「スーパーボールすくい」「ボーリング」「風船バレー」などのブースを、支援学校と市内の小中学校に通う児童生徒が、合同グループに分かれて回りました。それに加えて、支援学校高等部の生徒によるブースもあり、ポッチャの体験や手作りコースターを配り、本校のことを知ってもらう貴重な機会になったと思います。体育館が子どもたちの元気な声で賑わい、夏休みの楽しい思い出の1日となりました。



学校保健会議

7月18日に、学校保健会議に参加してきました。会議では、保健師、学校医、学校薬剤師、先生方が集まり、児童生徒の健康状態について、具体的なデータや報告が共有されました。会議に参加することで、児童生徒の健康状態や保健指導の重要性を知ることができました。保健室では心の健康サポートも大事にされていて、精神的な健康の維持に、とても大切な役割を果たしていると感じました。



成人の姿から見る、 在学中に付けておきたい 力について



10月18日(金)、進路指導部の先生方の御協力のもと、進路学習会が開催されました。
八幡市に関わりのある障害者就労支援事業所の方々に集まっていただき、お話を伺いました。

【働く活動をされている事業所】

!-factory kozuya 岡村 行宏 様

◎就労移行支援、就労継続支援B型(多機能型)

作業内容

・陶器の製造 ・食品加工、菓子製作

特徴

ビール製造過程で出る麦芽粕の粉末を釉薬に混ぜて陶器を作ったり、クッキーやパンの製造といった新事業を展開している。

よろづやまつもと 松本 智嘉 様

◎就労継続支援B型

作業内容

・食品加工 ・箱折り ・パソコン作業・畑作業

特徴

昼食、送迎サービスがある。土日も開所。週に1日や、午前のみ午後のみ利用も可能。

やわた作業所 三野 晃 様

◎生活介護、就労継続支援B型(多機能型)

作業内容

・ガス警報器の解体作業 ・刺し子ふきん
・やわた味弁当 ・古紙回収 ・ハートフラワー
・リサイクルセンター長谷山(城陽にあるゴミ処理場で作業)

特徴

利用者の主体性の発達を支援するために、利用者からなる自治会があり、行事の企画や実行をしている。

あしたばの家 井上 一喜 様

◎自立訓練、就労継続支援B型(多機能型)

作業内容

・水引の製作 ・箱折り ・お菓子の包装箱詰め
・縫製作業

特徴

精神疾患を抱えている方が多い。
日常生活に即した気づきから生活を立て直す、働くための土台づくりを支援している。

【働く生活をサポートしてくれる事業所】

八幡市地域活動支援センター やまびこ 森田 洋介 様

利用できる方

八幡市在住で18歳以上の障がい者手帳の所持、又は通院されている方

事業内容

・地域活動支援センター ・相談支援事業
地域活動として、模擬店などいろいろ開催され、日中の「居場所」の確保をしながら、「相談」「生活」「活動」の拠点となるよう、取り組まれている

就業・生活支援センター はびねす 山添 優 様

利用できる方

・山城北地域在住の方
・医療機関から障がいの診断名がおりている方
・企業就労するための準備性が整っている方

支援内容

・就業又は、転職するための相談
・働き続けるための相談
企業就労を通して、登録者の方が自立自走し、安定して長く働き続けられるようにサポートする

八幡市障がい者生活支援センター 803 近岡 久司 様

支援内容

・福祉サービスの紹介 ・地域相談 ・一般相談 ・障害支援区分の認定調査員
・精神障害者の家族会に参加し、提案や助言をする。
◎本校の進路相談にも御協力いただいている立場から、「在学中に付けておきたい力」について
①基本的な生活習慣 ②興味関心をもっていろいろなことに挑戦する ③素直・感謝(はい、ありがとうを言える力)

事業所の方々からも、「挨拶」「体調管理」「自分の気持ちを伝える」「人との出会いを大切に」といったことができると就労に繋がるとお話がありました。

今回は各事業所の方々に直接質問ができるブースコーナーを設けており、各々気になる質問もでき、有意義な時間を過ごせました。

実際に、障害者就労の現場におられる方々から一度にお話を伺える機会はほとんどないので、大変貴重な学習会となりました。

